

学校評価（保護者アンケート）を読ませていただいて

令和4年1月14日（金）

大和町立小野小学校

校長 手代木 吉之

小寒の頃、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、12月13日付けで、学校評価保護者アンケートの速報値について御報告させていただきました。学校では12月24日に学校運営反省会を実施し、保護者の皆様から頂いた御意見を全職員で共有する時間を設けました。

頂いた御意見につきましては、

- 3学期からすぐにでも取り組めること
- 今年度の取組を見直し、令和4年からの実施を目指すこと

に整理いたしました。特に3学期からすぐにでも取り組めることにつきましては、

●登下校の歩行、放課後の危険な自転車走行

など、子供たちの命に関わることを最優先の課題として受け止め、今後も最優先の課題として全職員で取り組んでいくことを確認いたしました。また、

- ・基本的な生活習慣の徹底（挨拶・身の回りの整理・整頓）
- ・子供たちが安心して学べる環境づくり

につきまして、これまでの指導を継続しながら、3学期も学級経営が土台であることを全職員で確認し、全校体制で取り組んでまいります。詳しくは項目ごとの「回答と考察」を御参照願います。

学校では、1月17日に教育課程全体会を開催し、今年度の反省や保護者の皆様から頂いた御意見をもとに、令和4年度の教育課程の編成に全教職員で着手する予定です。

また、令和4年度年間行事予定（運動会、音楽会、校外学習、修学旅行等宿泊を伴う学習、学習参観）等、保護者の皆様には大変関心の高いことかと存じますが、予定が固まりしだい、本校ホームページでお知らせいたします。

今回頂いた御意見の中には、学校に対する厳しい御意見もございましたが、コロナ禍での教職員の対応について、たくさんの励ましと感謝の言葉も寄せられました。皆様から頂いた貴重な御意見を今後の学校運営に生かし、これからも786名の子供たちのため、教職員、心を1つに取り組んでいく所存でございます。

どうか、これからも温かく見守っていただければ幸いです。

I 目指す児童像について

「明るく生きる子供」について

(1) 結果

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
感謝の気持ちを素直に表現	92.4 %	+1.4
互いのよさを認め合える	94.2 %	+0.3
思いやりのある言葉で話す	86.2 %	+1.5
明るい挨拶と返事	85.0 %	+1.5
靴そろえ・傘そろえができる	61.0 %	(昨年度項目なし)

各項目において昨年度より若干の上昇がありました。しかし、「靴そろえ・傘そろえ」については、他項目に比べて肯定的回答の割合が小さいことが分かります。学校では靴箱の靴そろえがほとんどの学年でできていますが、靴箱に入れる以外の場面でも靴をきちんとそろえる、傘をしっかりとまとめて傘立てに入れるなど、より一層の声掛けをしてまいります。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 友達と遊ぶことが大好きで明るく活発に生活できていると思います。
 - 家族でも一緒に笑い合えるように心掛けています。
 - 学校ではおとなしいかもしれないが、家ではとても明るく感情豊かに自分の気持ちを言うことができます。
 - 最近、親への感謝の気持ちを言うようになってきた。
 - 家ではイライラしつつも学校では毎日楽しく過ごしているように思う。
 - ・ ゲームや自分の興味のある話以外でも相手に興味をもち、誰とでもコミュニケーションがとれるようになればいいなと思います。
 - ・ 家庭内や中のよい友達だけでなく、地域の中でも元気に挨拶や発言ができるようになってほしい。
 - ・ どんな些細なことであれよいことは褒めるようにしている。
 - ・ 上手に叱られて愛されていることを感じてほしい。
 - ・ とにかくできたことを沢山褒めていただき自信をつけてもらいたいです。
 - 挨拶をしない子供が増えた気がします。
 - 顔見知りでも挨拶がない子供が多い気がします。
 - 思いやりはあるが、慎重な性格が故に、挨拶や返事など、人と接する上での基本的なやり取りに抵抗があるように感じます。
- ⇒ この2年間は、飛沫感染を避けるために「大きな声での挨拶」の指導がしにくくなっていました。そのため、御指摘のとおり、従来よりもはきはきとした挨拶ができる児童が減ってしまったように思われます。一方、これまでも、控えめではあっても心のこもった挨拶ができるお子さんもいました。そのようなお子さんの個性も大事にしながら、挨拶や返事によるコミュニケーションの始まりを更に意識させていきたいと思っております。学校では、大きな声ではなくとも丁寧で相手に伝わる声、小さな声でも心のこもった挨拶、ときには会釈のみなど、場に応じた挨拶ができるように指導しています。

「賢く生きる子供」について

(1) 結果

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
--	--------------------	------

学び方を知り，進んで学習	73.4 %	-11.4
話をしっかり聞く	75.7 %	-5.5
じっくりと考える	72.6 %	-6.6
意欲的に家庭学習	58.5 %	-14.4

各項目において昨年度よりも肯定的回答の割合が小さくなりました。特に、「学び方を知り，進んで学習」「意欲的に家庭学習」については10ポイント以上もマイナスとなりました。このような結果になったことの要因を探り，児童の学習意欲を伸ばす方法を考えていきます。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 毎日宿題があるので，家庭学習が習慣になりつつあります。
 - 音読が好きなようで大きな声で頑張っています。
 - 1年生の頃と比べると学習する楽しさを見つけたように感じます。
 - 疑問点があれば家族に聞くし，自分で調べて解決している。
 - 家族以外との関わりの中で，自我が通らないからこそ学んでいることがかなり大きいと思う。
 - おかげさまで，漢字は以前よりは丁寧に書くようになりました。
 - 学習面においては，タブレット端末の活用がよかった。
 - ・ まだまだ勉強のサポートがいる年齢なので，家庭でも一緒に勉強に取り組めるように工夫していきたい。
 - ・ 賢く生きるというのは，学業だけでなく，思慮分別のあることも大切。
 - 「賢く＝勉強ができる」ではないことを子供に伝えていく必要があると思います。
 - 賢くという意味が勉強ができるというだけの意味なのか，それ以外何かあるのか誤解を生みやすいので分かりやすくしてほしい。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。来年度は表現を工夫し改善に努めたいと思います。
- 賢さとは，勉強が得意，テストで点数が取れるといったことではなく，「自分の得意なことを伸ばすために必要なことを見付けて学び続ける」「自分の苦手を克服するための方法を見つけて学びに生かす」「そのときの状況をきちんと把握し，場に応じた，あるいは人の気持ちを考えた言動ができる」ことであると考えます。自分を伸ばし相手の気持ちを考えることのできる「心の賢さ」を伸ばせるよう，今後とも指導と支援を続けていきます。

「強く生きる子供」について

(1) 結果

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
目標をもち，それを実現しようとする	77.1 %	-2.5
楽しく運動し，体を鍛える	83.9 %	+1.2
自分の安全を守れる	91.0 %	-3.0
失敗を恐れず最後までやり抜く	65.2 %	-7.8

「失敗を恐れず最後までやり抜く」については7.8ポイントのマイナスとなりました。記述欄でも，「失敗を恐れてチャレンジできない・消極的である」といった回答が多く見られました。また，「自分の安全を守れる」についてマイナスとなっていると同時に，自転車の飛び出し等について地域の方から御指摘を受けることもしばしばあり，その都度指導してきました。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 小学校入学してから気持ちを強くもてるようになったと思う。
- 心も身体も強い子です。でも強いとは言っても傷つくこともあるので，そこは寄り添っていきたい。

- ・ 頑張ってきたことが認められたとき、自信がついて強くなれるのではないかと思います。
- ・ 全てにチャレンジする機会を与えていないように思う反面、リスク回避も必要だと思うので、できる範囲でたくさんのチャレンジをさせてあげたい。
- ・ まだまだ挫けてやめたくなることも多いですが、強く生きていけるように、寄り添ってサポートしていきたい。
- ・ 何度も何度もたくさん失敗して覚えることもあることに、努力することが大切なことに、気付いてくれたら最高です。
- ・ 失敗しても再度挑戦することや失敗を次に生かす姿勢を伝えることが大切だと考えます。

⇒ たくさんのお考えをお聞かせくださりありがとうございました。学校では、授業や普段の生活において、「一生懸命考えて生み出した間違いは宝物」「一生懸命やった結果の失敗は価値がある」ということをもとに、いつでも安心して考えを言ったり様々なことに挑戦したりすることのできる学級作りを目指しています。

- 失敗する事への不安が強く、安全で確実なことばかりに気持ちが向いてしまっています。
- 間違えたり失敗することを嫌がり、途中で期限が悪くなったり、やるのをやめることがあります。
- 失敗しそう、自分にはできない、そう思い込んで踏み出せない場面がよくある。

⇒ コロナ禍において、思うように様々な場面での挑戦ができなかった日も多かったことと思います。夢中になって挑戦したり遊んだりすることで、成功体験そして貴重な失敗体験が生まれ、それが子供たちの心の成長にもつながっていきます。特に、教室は「間違ってもいいところ」「間違いをみんなで認め合える場所」「『有意義な失敗』を日常的に体験できる場」であることを児童に繰り返し伝え、失敗したり間違ったりしながら成長していけるようにしていきたいと思っています。

- ・ 道路や遊び方で無茶をしてしまうことが多くけがが絶えず、声かけをしっかりとしていきたい。
- おしゃべりに夢中になり、登下校でよく転んで怪我をしています。周りをよく見られるようになってほしいです。

- 登校時、グリーンベルトがない道路を4、5人のグループで広がって歩いている児童がいる。
- 去年、自転車の乗り方についてお電話をしたが、注意がされてなく残念に感じたことがありました。

⇒ 安全に関する視点で見てくださりありがとうございます。折角御連絡をいただいたにも関わらず、学校での指導が徹底していなかったとのこと、大変申し訳ありませんでした。

登下校の歩行や放課後の危険な自転車走行については、たびたび地域の方々から御指摘をいただいております。昨年度は、「こんなに立派だった！登下校」と題して、グリーンベルトができた当時の児童の歩き方の写真（道路にはみ出さず、まっすぐ歩いていた様子）と、その後の写真（道路いっぱいに広がって下校している様子）を見比べ、自分たちの姿を振り返ることで安全な歩き方について考えさせるといったことも行いました。今一度、そのような取組を通して、場面をイメージさせたり、ひやっとした体験を取り上げたりして、具体的に指導していきます。

御家庭でも、日々の生活の中で起こりそうな危険な場面をお子さんと一緒に考えていってください。

Ⅱ 目指す学校像について

「子どもにとって学びがいのある学校」について

(1) 結果

	「そう思う」「どちらか」というとそう思う	「分からない」	肯定的回答の昨年度比
授業を大切にし、子供の学ぶ意欲を高めている	83.5 %	9.4 %	+1.9
基礎力・活用力を高める「めあてと振り返り」	76.5 %	17.4 %	(昨年度項目なし)
学ぶ意欲を高める家庭学習の推進	71.3 %	16.1 %	(昨年度項目なし)
教科担任制等を活用し、個に応じた指導	70.2 %	26.3 %	(昨年度項目なし)

特別支援学級との交流学习	43.2 %	52.1 %	(昨年度項目なし)
「特別の教科 道徳」の指導	57.8 %	40.5 %	(昨年度項目なし)
豊かな読書活動	68.4 %	22.5 %	(昨年度項目なし)
夢と志を育む教育	59.0 %	33.4 %	(昨年度項目なし)
発達段階に応じた食育	61.3 %	32.3 %	(昨年度項目なし)
発達段階に応じたメディアコントロールやICTモラル教育	66.4 %	30.1 %	(昨年度項目なし)
発達段階に応じた安全・防災教育	84.1 %	14.4 %	(昨年度項目なし)
発達段階に応じた家庭学習を推進	73.5 %	18.5 %	(昨年度項目なし)
興味・関心・意欲・創造性を生かせるクラブ活動・委員会活動	55.6 %	35.7 %	(昨年度項目なし)

各項目において、それぞれ「分からない」の回答を除く多くの回答が肯定的なものでした。

「特別支援学級との交流学习」については肯定的回答が43.2%に止まり、「分からない」が過半数を超えました。昨年度同様、縦割りや交流学級との行き来が制限されていたための結果と考えられます。少しずつ交流の時間を取り戻すとともに、交流活動の様子を保護者の皆様にもお伝えできればと思います。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 個々に向き合って学ばせてくれていると思います。
 - 楽しかった授業などを家庭で話す様子がよくあります。
 - 人数の多い学校ですが、子供に対しても保護者に対しても先生方とのつながりがとてもよく、感謝しかありません。
 - 学校ではよくご指導していただいていると思います。
 - 一緒に授業で勉強する他の子供たちの存在が大きな力になっているように思います。
 - 子供が成長したな、と感じる場面に学校生活が深く関係していると思います。学校生活で様々なことを吸収して成長していく姿をうれしく思います。
 - 理科の実験や算数の図形など実体験できるものは楽しく学べているようです。
 - 全般において子供の意欲や頑張りを引き出してもらっていると感じます。
 - 授業や宿題にタブレット学習を率先して取り入れていて、とてもよいと思います。
 - 人それぞれ学力が違うため、その子に合った進め方をいただいているので助かります。
 - ・ 学校の放課後のクラブ活動（野球やバレーなど）どのくらい活動しているチームがあるのかわからないので、保護者にも広めてほしいです。
 - 子供から特に話をされるわけではなく、コロナ禍ということもあり、内部の様子が詳しく分からない。
 - いろいろと学校で取り組んでいただいていると思うのですが、どのように取り組んでいただいているのかがよく分からなくて、回答が「分からない」が多くなりました。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。なかなか従来のように大規模かつ頻繁に御来校いただく機会を設けることができず、本当に心苦しく思います。各学年の学習活動の様子や学校としての取組等については、学校便り・学年便りのほか、ホームページに掲載の「校長だより」「学校日記」等を御覧ください。学校日記は、全職員が輪番制で執筆を担当し、もうすぐ卒業を迎える6年生に向けての一言メッセージ「卒業カウントダウンカレンダー」を更新中です。
- もう少し図書館を利用できる回数を増やしてほしい。
 - 図書館の本を持ち帰って土日に読ませたいです。
- ⇒ 今年度は、図書室の本を触る前後の手洗いを徹底するため、図書室の利用は各学級の割当ての時間に制限していました。今後、感染状況を見ながら、業間・昼休みの図書室の開放を行うよう計画を進めていきます。
- クラブ活動の回数が少ない。
- ⇒ クラブ活動や委員会活動の回数については、⑦各教科等・各行事に必要な「年間指導時数」（1年間に学習する内容を扱うのに必要な授業時数）と、①「年間授業時数」（その年度のカレンダー上、1年間でどれくらいの授業時数を確保できるか）に関わってきます。①から⑦を差し引くと、年間で

いくらかの「余剰時数」（余った時間）が出ます。クラブ活動や委員会活動の時間は、その余剰時数の中から確保します。ただし、④から⑦を差し引いた時間全てをクラブ活動や委員会活動に充てることはできません。これは、突然の臨時休校があったり不測の事態が起こったりして授業ができなくなった場合、各教科等の授業時間を余剰時数から補充するため、その分の時数をあらかじめ多めに確保しておく必要があるためです。このような理由から、現在の公立学校におけるクラブ活動の回数は、それほど多くは設定できないことを、どうか御理解ください。

今後とも、限られた回数ではありますが、お子さんがクラブ活動を楽しむ様子を温かく見守っていただければ幸いです。

「保護者・地域との連携」について

(1) 結果

	「そう思う」「どちらか」というとそう思う	「分からない」	肯定的回答の昨年度比
お便りやホームページ等で学校や児童の様子を伝えている	95.0 %	0.9 %	-0.4
保護者や地域からの情報や相談事に適切に対応している	80.4 %	14.4 %	-4.6
児童が安全な学校生活が送れるように校舎内外の施設整備をしている	81.9 %	15.5 %	-3.9

昨年度と同様、「お便りホームページ等」での情報発信については9割以上の方々から肯定的回答を頂きました。また、「保護者や地域からの情報や相談事に適切な対応」「校舎内外の施設整備」についても、「分からない」を除くほとんどの回答が肯定的なものでした。

- 防犯カメラの増設など、早々に対応していただき、ありがとうございます。
- 今回、児童の安全確保のため、学校の防犯対策を強化していただいたことで安心して登校することができています。
- 通学路で毎朝見守りをしてくださる先生や地域の方がいてとても安心でありがたく思います。
- 登校時に横断歩道での見守り指導、ありがとうございます。
- たくさんの児童がいる中でもしっかり一人一人を見てくれていると思う。
- 行ったことなどを文書を通して行ってくれています。
- いろいろな方法を持って情報を発信してくださりありがとうございます。
- コロナ禍になり、学校に行く機会が減ってしまいましたが、今年は体育と音楽の見学会などもあり、よかったです。
- ・ 雪の日に子供たちが通う通学路の整備を先生方がやられているという話を聞いたことがあるが、やり過ぎだと思う。先生方が疲弊してしまうので、学校の敷地内などでよいのでは。
- 相談に適切かと言われると正直分かりません。物足りない、誤解されていると感じることもありますし、忙しい中対応していただきありがとうございますと感じる場面もあります。
- 持ち物に大きな名前をつけるよう言われていますが、子供たちの登下校時の安全への配慮が気になっていました。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。名札を外して下校するのに、持ち物には大きな名前…確かに気になりますね。R.4新入生保護者説明会では、体操着袋等の名前は袋の内側に付けていただくように案内を変更したいと思います。また、名前が外側に付いている物（例：鍵盤ハーモニカ 書道セット 体操着袋等）を持って歩く場合は、名前が付いている面を体側に伏せて持つように指導するなど、教師・児童共に安全意識を高められるようにしていきます。
- 日吉台など近隣の不審者情報は、学校からのメールや児童への連絡があったほうがいいのでは。
- 何度も何度も注意しても、学校からお便りを出してもらっても、道路でボール遊びをして、人の家の庭に勝手に入り、花や木を踏んでいく、車にボールをぶつけても知らん顔して遊ぶ子供がいます。もう個人的に注意してほしいです。

- 保護者にはネームプレートを配布して入校するようにした方がよいと思う。
- 参観の際に、挨拶しやすいように、保護者用の名札等があるとよかった。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。ネームプレート購入に係る予算や配布・活用方法等について、来年度に向けて前向きに検討いたします。
- メールだと連絡が遅れる場合がある。
- ⇒ 御意見ありがとうございます。全家庭の保護者の皆様に瞬時に情報を共有していただくことはなかなか困難なことでありますが、現時点では、文書やホームページ、電話連絡と比べても、「一斉メール」が最も迅速に情報提供ができる手段となりますので、御理解と御容赦を願います。

Ⅲ 家庭での学習・生活について

(1) 結果

	「そう思う」「どちらかというと思う」	昨年度比
学校の学習への意欲的な取組	81.9 %	-4.3
家庭での学習への意欲的な取組	64.6 %	-5.2
「学年×10分」以上の家庭学習の習慣	57.5 %	-6.7
読書に親しむ態度	60.4 %	-2.0
生き生きとした学校生活	94.4 %	+0.5
学校や社会の決まりを守って生活	95.6 %	-1.7
感謝の気持ちをもって生活	91.5 %	+3.0
言葉遣いに気を付けながら生活	75.5 %	-1.4
友達と仲良く生活	98.3	+0.3

「I」の「賢く生きる子供」の結果とも関わりますが、学習意欲に関する項目において、肯定的回答が昨年度と比べて減っている状況となりました。学習意欲の向上に向け、校内で考察し、指導につなげていきます。

「生き生きと学校生活を」「決まりを守って生活」「感謝の気持ちをもって生活」「友達と仲良く生活」については、いずれも90%以上が肯定的な回答でした。特に、「感謝の気持ちをもって生活」は昨年度比で3.0ポイントのプラスとなっています。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- 学校での出来事を感情とともに話してくれるので、楽しく学校生活を送れているのだなとうれしく思っています。
- 自分の箸は自分で洗うなど身の回りのことを自主的に行う姿勢に成長を感じる。
- 来年、教科が増えるので、楽しみにしているようです。
- 先生やお友達に恵まれて楽しい学校生活を送れていることに感謝しています。
- 家庭学習の具体例を学年日よりいただいたのがとても参考になりました。今後も学習のヒントをお願いしたいと思います。
- テスト前などになると苦手意識のあるものを中心に勉強を頑張っているようです。
 - ・好きな教科は自ら進んで家庭学習をしようとするが、苦手な教科に関しては何をどう取り組んでいいのか分からずに悩んでいるようです。
 - ・1年生なら1年生なりの家庭学習の具体的なやり方を紹介してほしい。
- 悪口など嫌な気持ちになるようなことを言われることがあるようです。そういう子が減るように指導してもらえたらと思います。
- 友達と夢中で遊んでいるときの言葉遣いは、家族といるときと違うように感じている。
- 言葉遣いは、言い間違いがすごく多いので友達関係でトラブルにならないか気にはなっています。

⇒ 御家庭での御指導ありがとうございます。学校では、低学年から高学年までほとんどのお子さんが丁寧な言葉や敬語を使いこなしたり、授業中は友達を「さん」付けて呼んだり、相手を尊重する話し方ができています。

一方、遊びの中では、思わず乱暴な言葉遣いになってしまう児童も少なからずいるようです。特に、戦闘系のゲームのプレイ中には、ぎょっとするほどの荒々しい言葉を発したり友達とトラブルになったりといった話も多く聞かれます。「言葉は人をつくる」「親しき仲にも礼儀あり」ということを、各学級・学年にて継続的に指導していきます。御家庭でも引き続き御指導をお願いいたします。

- 採点の時間短縮のために答案が欲しいです。
 - 算数プリントの解答も欲しいです。答えが曖昧だったり考え方が違ったりすると間違っって教えてしまいます。学校の教え方を否定しないためにもよろしくをお願いします。
 - ⇒ いつも家庭での学習支援に御協力くださりありがとうございます。解答配布がない学年もあったということで、御不便をお掛けしました。今後は、採点の時間短縮のためにも、解答の配布なしでも取り組める宿題を出すなど、課題の出し方を工夫してまいります。
 - 学校のノートではなくドリルとかしている場合もあり、それに関してしていないと評価されているのか心配です。
 - ⇒ 御家庭での学習の仕方には様々なスタイルのものがあ、り、ノートとして提出できないものもあるかと思、います。その場合は、取り組んだ内容が分かるように家庭学習カードや自主学習ノートに記入していただければ結構です。お子さんが自分のスタイルで安心して学習を進められるよう、御家庭でも取り組んだ内容を御確認の上、お励ましてください。
 - 家庭でも学習は取り組んでいますが、時間にするととても短く、学年×10分をととても満たしているとは言えないところです。
 - 宿題のプリントは自分からやっているのですが、自主勉はやっている感じが、ないです。
 - このまま中学生になって、自主的に学習などに取り組めるのか、少し心配です。
 - 自主学習はやらなくてもいいものと思、っており、自分からやることはないです。
 - 「自主学習」という名称になっていることで、「必ずしもやらなきゃいけないわけではない。やりたい人がやるもの」という認識になっています。
 - 週に一回必ずノートを出すようになどしてほしい。
 - 宿題が少ないと感じる。
 - ⇒ いつも家庭学習への御協力ありがとうございます。学年に応じた家庭学習の目安時間（学年×10+10分）や習い事等により、下校後の過ごし方はお子さん個々に違いがあります。宿題は、様々なペースのお子さんが無理なく取り組めるぐらいの分量を出しておりますので、お子さんによっては物足りないこともあるかと思、います。
- そこで、自主学習の出番です。学級ごとに決まった「いつもの宿題」とは別に、自分のペースに合わせて内容や分量を決めることのできる自主学習を進めることで、学習量の調整ができます。「やりたい人がやる」のが自主学習ではなく、「一人一人、全員が、自分の学習ペースに合わせて宿題プラスアルファの部分の補完する」のが自主学習であると、児童にも改めて指導します。

VI 御家庭でのお子さんとの関わりについて

(1) 結果

	「そう思う」「どちらかという、とそう思う」	昨年度比
学校・学級便りや通信票を御覧になり、お子さんの努力を認め励ましている	97.6 %	-0.4
「はやね・はやおき・あさごはん」など生活習慣の維持に努めている	91.2 %	-1.1
お子さんの学校での交友関係や生活についてよく知っている	88.9 %	-1.2

テレビを見る時間やゲームをする時間、タブレットを使用する時間を決め、お子さんに守らせている	74.8 %	-0.5
---	--------	------

「お子さんの努力を認め励ます」「『はやね・はやおき・あさごはん』など」については、それぞれ 90% 以上が肯定的な回答でした。お便りや通信票をもとにお子さんを励まし、また、基本的な生活習慣について御家庭でお声掛けいただいていることは、お子さんの心の安定をもたらすものと考えます。

一方、「学校での交友関係や生活をよく知っている」については約 10%、「テレビやゲーム、タブレットの時間を守らせるについては約 25%が否定的な回答でした。

(2) 回答（お寄せいただいた意見の紹介）

- テレビは以前は付けっぱなしだったが、ご飯、宿題、おもちゃで遊ぶときは自分で消すようになった。
 - ・ 子供の話には、できるだけ寄り添いたい。いいことだよね、悪いことだよねと、いつでも話せる関係でいたい。
 - ・ 話したいことや困っていることを自分から話せるような雰囲気づくりを心がけています。
 - ・ 今日は学校でどうだったのか、と親から聞かないと自分からは話してくれないところがあるので、もっと会話を増やしていければいいなと思います。
 - ・ できたことは大袈裟すぎるくらい褒めるようにしています。
 - ・ あまり多くは話しませんが、食事やお風呂の時間など、学校の様子を聞くと話してくれます。楽しみにしていることや先生の話、友達の話、嫌なことがあったなど、解決できる方法を一緒に考えたりします。
 - ・ よく、家事を一緒にします。お布団敷き、夕食作りやお米研ぎ、洗濯物畳み、お掃除などを少しずつできるようになってほしいと思います。
 - ・ 帰ってきたときの様子を見たら分かりますが、家庭でもアンテナを張って、何かあったら自分から話しやすい雰囲気を作っていきたいと思います。
 - ・ メディアの制限はしていないが、やるべきことをしてから就寝までの時間ですよう指導している。
 - ・ 自宅では常にイライラしているので、優しく発散するよう指導し、また親もできる限り優しく受け止めるよう努力はしています。
 - ・ 宿題やりなさいとついつい言ってしまってテンションを下げさせてしまうので、違う方法でアプローチして楽しく勉強出来たらいいなと思います。
 - ・ 家庭学習について声がけしていますが、子供は「必ずやらなきゃいけないわけじゃないのに、なんでやらなくちゃいけないの？」という感じで、たまにやりますが全く習慣化できていません。
 - ・ クロームブックなどでもっと手軽に学習の手引きが見れるようなしくみがあれば、もっと活用しやすくなるように思います。
- ⇒ 貴重な御提案ありがとうございます。町から出されている「学習の手引き」をタブレット等でいつでも見ることができるよう、早速、各学級の Google クラスルームに画像をアップしました。画面上の方の「授業」のタブから御覧いただけます（いつも見ているのは「ストリーム」というタブです。「授業」タブはその右隣にあります）。週末のタブレット持ち帰りの際、お子さんと一緒に是非御覧ください。
- YouTube の時間は家庭で決めているが、守れていない。
 - ⇒ ゲーム・テレビなどのスクリーンタイム、YouTube 等の利用については、小学生という発達段階からもお子さんの自主性に任せるのではなく、まだまだ御家庭の御協力が必要です。今一度、時間を取って各御家庭での約束やマナーをお子さんと共に話し合ってくださいと、自らの生活を振り返り、更に望ましい学習や生活リズムの習慣化につながるものと思われま。御協力をお願いいたします。

V その他

- 子ども同士のトラブルにもすぐに対応して下さったり、丁寧にご指導していただき、感謝しております。
- ちゃんと先生は見きれているのか、やられた側の子たちのケアはちゃんとしてくれるのかいろいろと心配や不安な点があります。

- 学校や担任がどのように対応しているのか全く把握できていません。学校、保護者を交えて話し合う必要性はないのか、検討していただきたいと思います。
- クラスの落ち着きのなさに驚きました。学校としての取組が見えてこないのが残念です。
- 「死ね」という言葉を言われて傷ついているというお子さんの話を多く聞くのがとても気になります。学校の中の問題とするのではなく、もし自分の子供が悪い言葉や行動をしているときには、早い段階で教えていただき、家庭でも指導していきたいと思います。
- ⇒ 学校での指導に関して御心配をお掛けしており、大変申し訳ありません。学年や学級に課題が生じた場合、個に応じた具体的な手立てを試行錯誤し、保護者の方と連絡を取り合い協力を頂きながら、日々指導に当たっています。今後も、学級経営が土台であることを全職員で確認し、全校体制で取り組んでまいります。
- 毎週学級便りを出してくれる先生のおかげで、子供が何をしているのか分かるので家での会話が多かったです。
- 週末、上靴を教室で脱ぐように促すのはやめてほしいです。汚れが気になります。
- 毎日ランドセルがいっぱいになるほどの荷物を持って登校しています。大人が持ってもとても重いです。持ち帰っても使わないようなドリルや教科書など学校に置いておくようにしてもらいたいです。
- ⇒ 学級での指導について御心配をおかけしており、申し訳ありませんでした。上靴については、週末の持ち帰りの際に教室で脱がせるという指導は基本的にはしてはおりませんが、そのような御指摘があったことを職員間で共有しました。
- 家庭であまり使用しない教科書やノート・資料集は、持ち帰らずに各教室で置き場所を決めたり机の中に保管したりしています。お子さんの負担過多とならないよう、教材教具の持ち帰りについて、校内でも更に検討していきます。
- 人数が多いという理由でできなかつたり、子供たちが我慢しなければいけない場合が多々あるように感じています。なかなか大変だとは思いますが、なんとか子供たちの経験と成長のために今後ご検討いただけないかと思えます。
- 感染対策をしているのであれば、コロナが落ち着いているうちに、もう少し普通の生活をしてもいいのではないのでしょうか。
- ・ 日々の丁寧なご指導に感謝しています。コロナ禍で難しいところではあると思いますが、来年度はぜひ大きな行事も行ってほしいと思っています。
- ⇒ 令和4年度の教育計画を作成するにあたり、運動会や学習発表会など各行事の在り方を検討中です。普段の生活を含め、コロナ以前のような形に完全に戻すことは難しいと考えられますが、感染症対策と充実した学校生活の両立を図れるよう、精一杯考え、実現に努めてまいります。
- 毎年思うのですが、このアンケートがどのように学校、先生方、子供たちに役立っているのでしょうか？
- ⇒ お忙しい中、毎年の御協力に感謝いたします。頂いた御意見は全て目を通し、そこから「すぐに取り組めること」「次年度に取り組めること」を全職員参加の会議で具体的に検討した上で、学校における教育活動及び学校運営に生かせるよう努めております。
- 例として、昨年度のアンケートで「職員玄関や正門のセキュリティが不安」という御意見を頂いたことを受け、その後は防犯カメラの増設、職員玄関のインターフォン対応の強化、9時～15時まで校門を閉めるといったことを実現しております。一斉メールに関しても、「学校からのメールが多すぎて何が重要か分からなくなる」という御意見が多数あったことを受け、情報発信の仕方を見直しました。今年度も、「自主学習の提出方法」「ドリル等の持ち帰り」「図書室の利用」その他について、本アンケートで記述いただいた御意見を基に各部会で話し合いをもちました。具体的に取り組めるものについては、3学期または次年度に反映させていただきます。
- また、今年度は、本文書の表でお示しましたように、それぞれの項目での肯定的回答の割合について昨年度比を数値化することで、前年度よりマイナスになっているものの改善を図っていきます。

頂いた御要望全てにお応えすることはなかなか難しいですが、学校としてでき得る限りのことに精一杯取り組んでまいります。お気付きの点がございましたら、どうぞ御遠慮なく学校までお知らせいただければと思います。今後とも、保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

(文責：主幹教諭 堀田)